

# スーパーマーケット景気動向調査

2019年5月調査結果（4月実績）  
（2019年5月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

## 【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」  
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」  
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

## 【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

---

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会  
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会

## 5月調査（4月実績）結果概況

### 景気判断DI 現状、見通し判断共に小幅ながら2か月連続の改善

4月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI現状判断は前月から+0.7の44.9、見通し判断は前月から+1.6の42.8となり、共に小幅ながら2か月連続で改善をみせた。

経営動向調査では、売上高DI、収益DI共にマイナス圏で前月と同水準の推移となった。青果の相場が前年並みに戻ったことで生鮮仕入原価DIが2.3、一般食品に値上げが相次いでおり食品仕入原価DIは7.1まで上昇し、客単価DIは2.0とプラス圏を回復した。一方で、日曜日が一回少ない曜日めぐりや花見時期の天候などの影響で、来客数DIは-13.9とややマイナス幅を拡大したため、前月と売上高や収益に大きな変化はみられなかった。

カテゴリ動向調査では、青果相場の回復により青果DIが-8.2、GW商戦で刺身類などが好調であった水産カテゴリも-0.8と共に大幅にマイナス幅を縮小した。一方で前年より低い気温により、涼味商材の動きが悪く、消費の低迷により競合が厳しさを増す中で他のカテゴリDIでは伸び悩みをみせた。（カテゴリ動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、小幅ながら2か月連続で改善したものの、昨年10月以降の悪化により中長期下落トレンドには変化がみられていない。（周辺地域景気動向DI長期傾向参照）

今月は、大型連休前の消費動向の違いや、気温差により商品動向にばらつきが特に大きい月となった。食品について、需要予測など発注技術の効率化が進むなかで、これまで経験のない大型連休前の消費動向や気候の急変など不確実性による消費者行動の変化の影響が大きく、状況に応じて、臨機応変な対応力が、今後の差別化戦略のひとつになるのではないだろうか。

#### 景況感調査

##### 現状判断

<b>景気判断DI</b> 当月：44.9 (+0.7) 前月：44.2	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月：45.1 (+2.0) 前月：43.1	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月：42.2 (+1.1) 前月：41.1	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月：45.3 (+0.6) 前月：44.7
--	---	---	---

##### 見通し判断

<b>景気判断DI</b> 当月：42.8 (+1.6) 前月：41.2	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月：43.7 (+1.3) 前月：42.4	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月：41.5 (+3.0) 前月：38.5	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月：44.4 (+0.6) 前月：43.8
--	---	---	---

#### 経営動向調査 経営状況

<b>売上高DI</b> 当月：-10.3 (+0.2) 前月：-10.5	<b>客単価DI</b> 当月：2.0 (+5.8) 前月：-3.8	<b>来客数DI</b> 当月：-13.9 (-3.0) 前月：-10.9	
<b>収益DI</b> 当月：-10.6 (-1.1) 前月：-9.5	<b>販売価格DI</b> 当月：4.8 (+7.0) 前月：-2.2	<b>生鮮品仕入原価DI</b> 当月：2.3 (+4.7) 前月：-2.4	<b>食品仕入原価DI</b> 当月：7.1 (+1.7) 前月：5.4

#### カテゴリ動向

<b>青果DI</b> 当月：-8.2 (+14.8) 前月：-23.0	<b>水産DI</b> 当月：-0.8 (+1.5) 前月：-2.3	<b>畜産DI</b> 当月：-9.5 (-6.9) 前月：-2.6	
<b>惣菜DI</b> 当月：0.8 (+3.0) 前月：-2.2	<b>日配DI</b> 当月：-10.7 (-2.2) 前月：-8.5	<b>一般食品DI</b> 当月：-5.7 (-5.7) 前月：0.0	<b>非食品DI</b> 当月：-13.1 (-4.3) 前月：-8.8

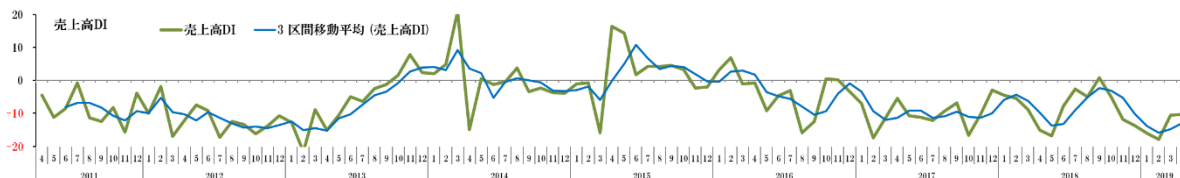
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

## 5月調査（4月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

### 1. 売上高DI

二桁マイナス圏で前月と同水準で推移

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	14.1	35.9	29.2	19.8	1.0	-10.5
売上高（当月）	<b>12.0</b>	<b>38.9</b>	<b>28.7</b>	<b>19.2</b>	<b>1.2</b>	<b>-10.3</b>



### 2. 収益DI

わずかに下落し二桁マイナスを記録

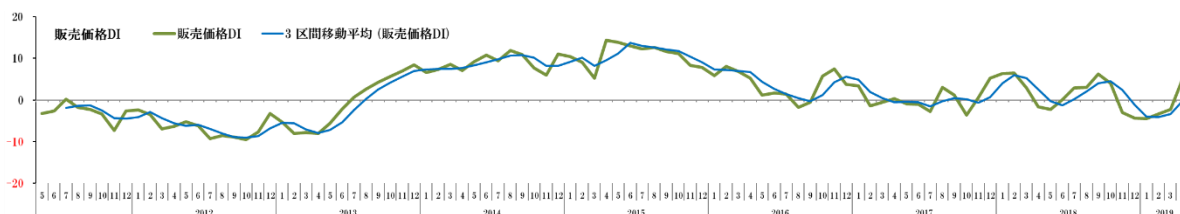
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	10.5	40.0	27.9	20.0	1.6	-9.5
収益（当月）	<b>10.5</b>	<b>39.5</b>	<b>34.0</b>	<b>14.2</b>	<b>1.9</b>	<b>-10.6</b>



### 3. 販売価格DI

今月上昇し、プラス圏を回復

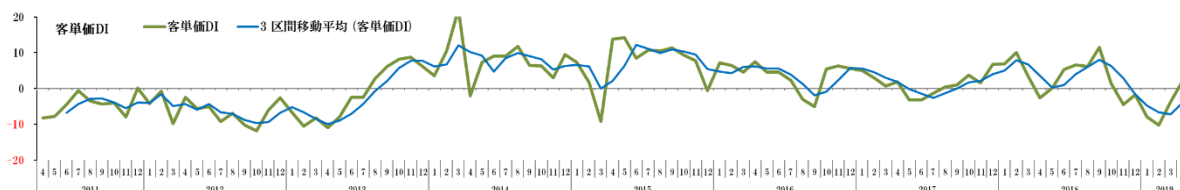
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.5	24.6	58.1	16.8	0.0	-2.2
販売価格（当月）	<b>0.0</b>	<b>10.8</b>	<b>59.0</b>	<b>30.1</b>	<b>0.0</b>	<b>4.8</b>



### 4. 客単価DI

今月上昇し、プラス圏を回復

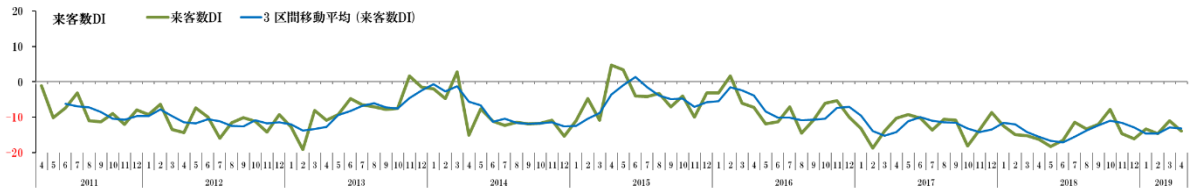
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	1.6	30.4	49.7	18.3	0.0	-3.8
客単価（当月）	<b>1.2</b>	<b>24.7</b>	<b>40.4</b>	<b>32.5</b>	<b>1.2</b>	<b>2.0</b>



## 5. 来客数 DI

再び下落し、二桁マイナス圏で低迷続く

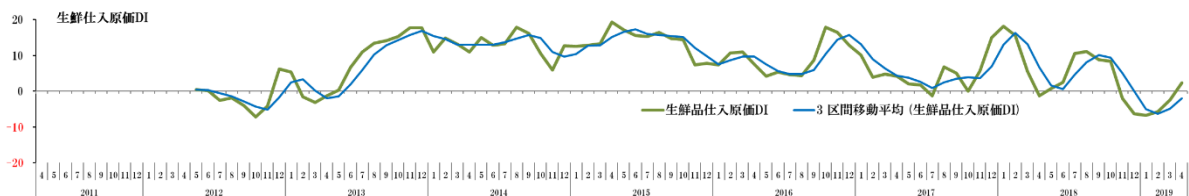
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	8.9	41.1	36.3	12.1	1.6	-10.9
<b>来客数 (当月)</b>	<b>11.4</b>	<b>48.8</b>	<b>25.9</b>	<b>11.4</b>	<b>2.4</b>	<b>-13.9</b>



## 6. 生鮮仕入原価 DI

5ヵ月連続のマイナス圏からプラス圏に上昇

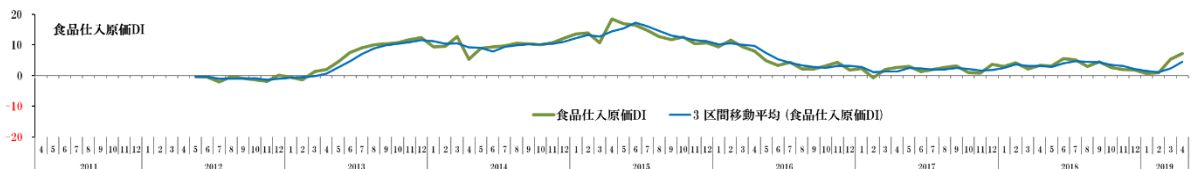
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	4.2	24.9	49.7	18.5	2.6	-2.4
<b>生鮮仕入原価 (当月)</b>	<b>1.8</b>	<b>15.2</b>	<b>56.7</b>	<b>24.4</b>	<b>1.8</b>	<b>2.3</b>



## 7. 食品仕入原価 DI

当月さらに上昇し、プラス幅を拡大

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	3.2	9.0	53.4	31.7	2.6	5.4
<b>食品仕入原価 (当月)</b>	<b>3.0</b>	<b>7.9</b>	<b>48.5</b>	<b>38.8</b>	<b>1.8</b>	<b>7.1</b>

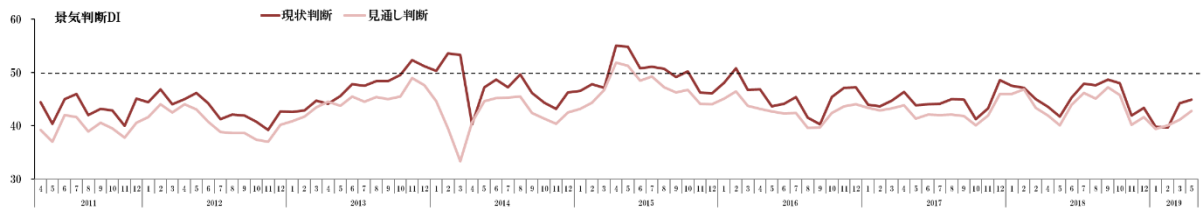


## II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ 2010年4月～)

### 1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断、見通し判断共に小幅な改善が続く

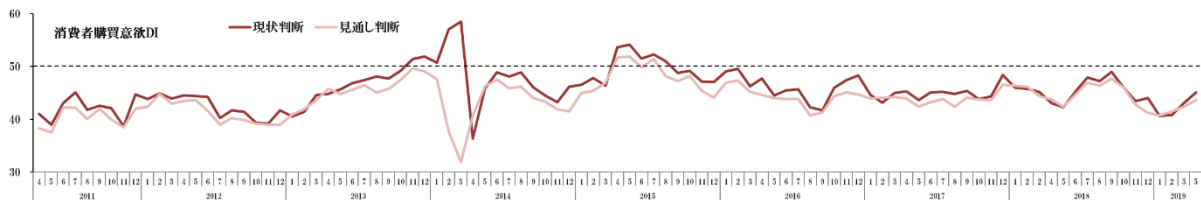
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	4.2	27.4	56.8	10.5	1.1	44.2
【現状】景気判断 (当月)	3.0	25.7	59.9	11.4	0.0	44.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	6.3	31.1	54.2	8.4	0.0	41.2
【見通し】景気判断 (当月)	4.2	28.3	59.6	7.8	0.0	42.8



### 2. 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断共に改善傾向

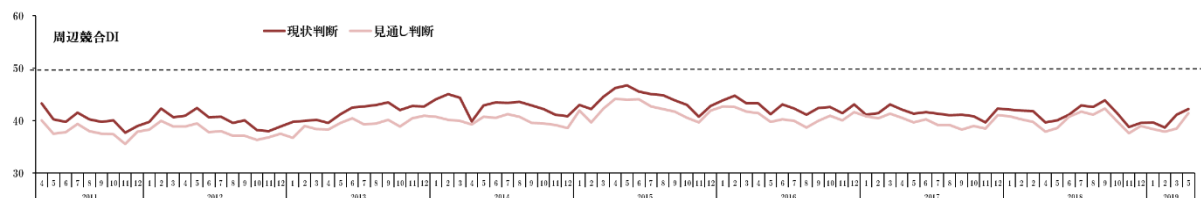
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	2.1	30.4	60.7	6.8	0.0	43.1
【現状】購買意欲 (当月)	2.4	23.4	65.9	8.4	0.0	45.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	2.6	30.9	60.7	5.8	0.0	42.4
【見通し】購買意欲 (当月)	2.4	27.1	63.9	6.6	0.0	43.7



### 3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断、見通し判断共にやや改善

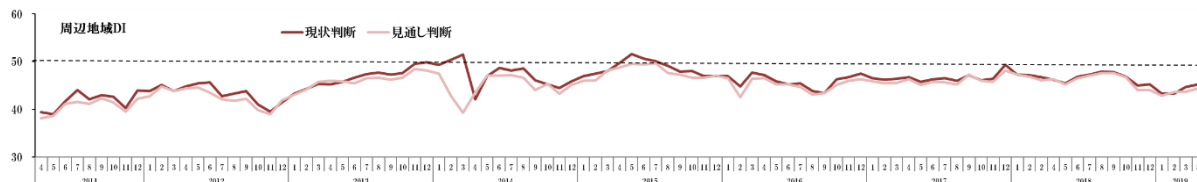
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	4.7	28.6	64.1	2.6	0.0	41.1
【現状】競合状況 (当月)	5.4	23.4	68.3	3.0	0.0	42.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	9.4	30.2	57.3	3.1	0.0	38.5
【見通し】競合状況 (当月)	6.0	25.1	65.9	3.0	0.0	41.5



#### 4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断、見通し共に小幅な改善が続く

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	1.6	20.6	75.1	2.6	0.0	44.7
【現状】地域景気 (当月)	0.6	19.4	78.2	1.8	0.0	45.3
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	2.7	21.8	73.4	2.1	0.0	43.8
【見通し】地域景気 (当月)	1.2	21.8	75.2	1.8	0.0	44.4



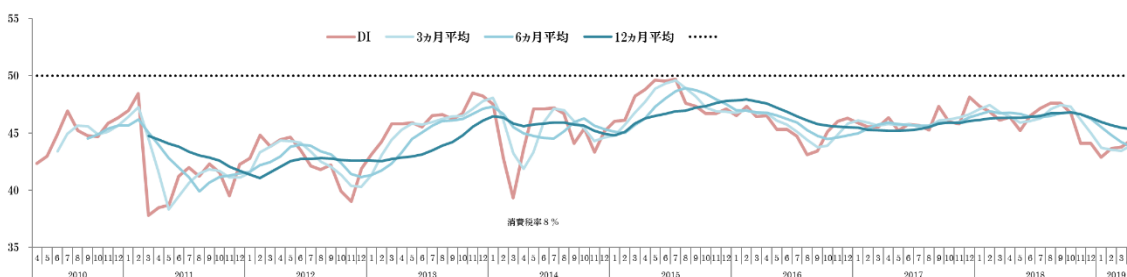
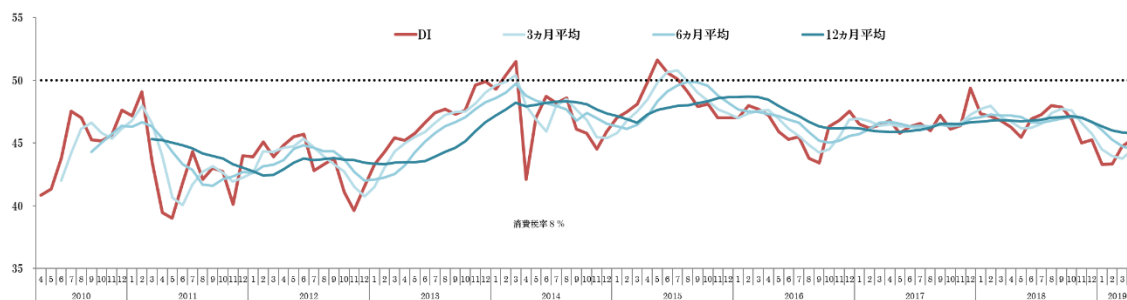
#### ※長期傾向 (2010年4月～)

11年3月の東日本大震災後低迷を続けていたDIは、12年11月から16ヵ月にわたり改善が続き、14年3月には現状判断DIが51.5を記録した。

14年4月の消費税率引き上げにより大きく悪化したものの、その後徐々に持ち直しをみせ、2015年5月には調査開始以来の最高値を更新し、現状判断DIは51.6にまで達した。

しかしこれをピークとし、その後15ヵ月にわたり悪化傾向が続き16年9月には、現状判断DIは43.4まで低迷した。以降やや改善傾向が続いていたが、18年に入り悪化が続き、5月には移動線付近を下回る水準まで低下した。その後6月以降は持ち直し改善傾向が続いた。

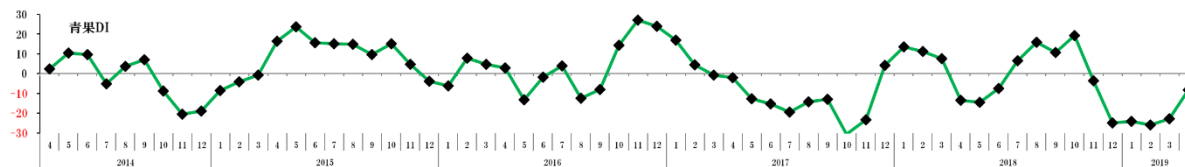
10月から再び悪化幅を広がり、11月にはすべての移動平均線がマイナス方向に転換し、以降弱含みの推移が続いた。3月と4月はやや持ち直しの動きをみせている。



### Ⅲ. カテゴリー別動向

#### 1. 青果DI：-8.2（やや不調）

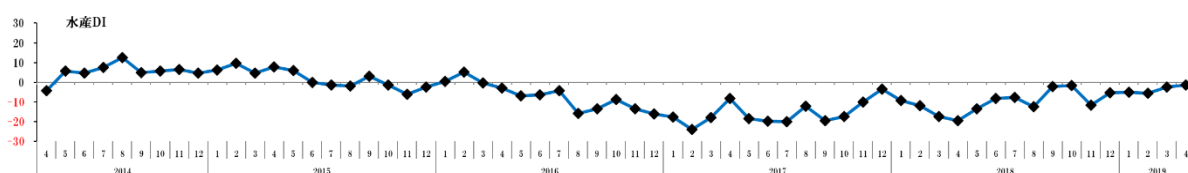
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果 (前月)	33.3	37.7	18.6	8.2	2.2	-23.0
<b>青果 (当月)</b>	<b>13.0</b>	<b>32.9</b>	<b>30.4</b>	<b>21.1</b>	<b>2.5</b>	<b>-8.2</b>



全体として相場安にはやや落ち着きがみられはじめたが、販売点数の伸び悩んだことで葉物類や根菜類を中心にやや不調となった。トマト類などサラダ用野菜も苦戦した店舗が多かった。春物の豆類（グリーンピース・スナップエンドウ）、健康報道のあった玉ねぎや舞茸などが好調とのコメントがみられた。ばら売りやカット野菜に対する需要の高まりの指摘が多かった。果物類は低い気温ですいかの不調、柑橘類は好不調まちまちであったが、キウイフルーツやアボカドの動きがよかった。輸入ぶどうが好調とのコメントもみられた。

#### 2. 水産DI：-0.8（やや不調）

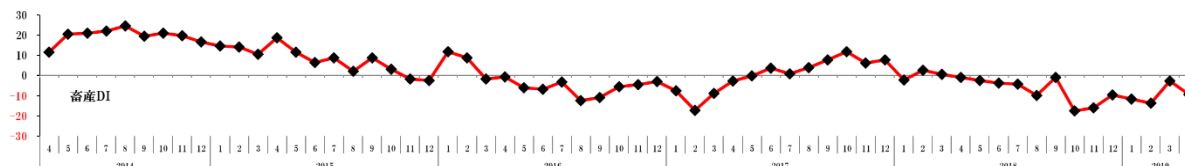
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産 (前月)	6.6	30.8	35.2	20.3	7.1	-2.3
<b>水産 (当月)</b>	<b>9.3</b>	<b>24.2</b>	<b>30.4</b>	<b>32.3</b>	<b>3.7</b>	<b>-0.8</b>



今月は気温の影響か好不調動向に店舗での差が大きく全体的な傾向はみられなかった。月末のGWに向け、生食用や大型の刺身盛り合わせなどの動きがよかった。一方でカツオの売上は伸び悩んだ店舗が多かった。塩干類に回復傾向がみられた。旬のホタルイカやイカナゴは不漁により大きく落ち込んだ店舗が多い。海藻類はこれまでの特需からの反動減がみられた。高騰するうなぎは好不調がわかれた。

#### 3. 畜産DI：-9.5（やや不調）

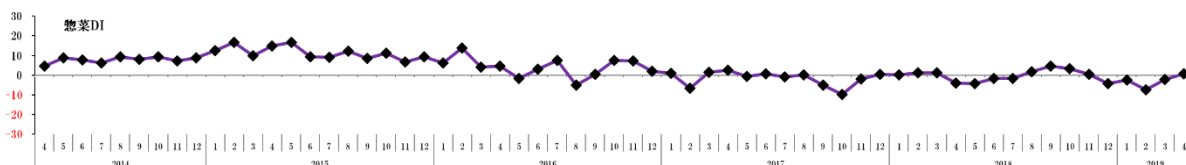
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産 (前月)	7.1	29.7	34.1	24.7	4.4	-2.6
<b>畜産 (当月)</b>	<b>12.4</b>	<b>34.8</b>	<b>32.3</b>	<b>19.3</b>	<b>1.2</b>	<b>-9.5</b>



今月は気温の影響か好不調動向に店舗での差が大きく全体的な傾向はみられなかった。月末のGW時期は和牛などの動きがよかった一方で、それ以外の時期は輸入牛の動きがよかった。ステーキ用の赤身肉は好調だが、気温により焼肉用は好不調まちまちとなった。豚肉は相場がやや高騰しているが、気温が低下した地域では国産、輸入豚ともにやや不調とする店舗が多かった。ハムやソーセージなどの加工肉は価格競争の厳しさを指摘するコメントもみられた。

#### 4. 惣菜DI：0.8（やや好調）

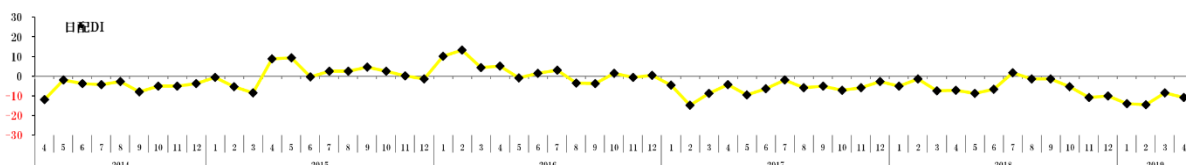
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	6.7	26.7	40.6	21.1	5.0	-2.2
<b>惣菜（当月）</b>	<b>6.3</b>	<b>22.5</b>	<b>38.8</b>	<b>26.9</b>	<b>5.6</b>	<b>0.8</b>



花見時期に気温や天候に地域差があり、行楽商戦に対する評価はまちまちであった。比較的天候に恵まれた地域では弁当やおにぎりなどの米飯類や寿司類、からあげ、おつまみなどが好調に推移したが、反対に気温低下など天候不良であった地域では不調となった。旬の食材を使った季節感や加工度の高い惣菜の動きがよいとのコメントが多くみられた。前年好調であったサラダ関連は反動で不振となった。出来立ての提供やバイキング形式での販売などが新たな取り組みが成果をあげる一方で、人手不足により十分対応できないことへの不安もみられた。

#### 5. 日配DI：-10.7（不調）

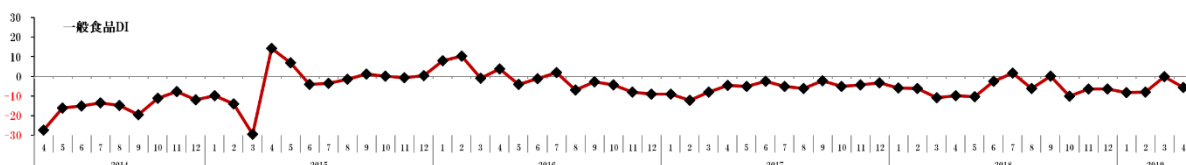
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	8.7	37.2	35.0	17.5	1.6	-8.5
<b>日配（当月）</b>	<b>12.4</b>	<b>36.6</b>	<b>32.9</b>	<b>17.4</b>	<b>0.6</b>	<b>-10.7</b>



前年より気温が低かった地域ではアイスや飲料など涼味系商品は動きが特に悪かった。ヨーグルトカテゴリーや冷凍食品も伸び悩んだ。パン類は好調とする店舗が多かった。健康報道により納豆、甘酒、梅干しは引き続き好調とする店舗が多い。和日配では、豆腐や漬物、こんにゃくなどの動きが悪かった。

#### 6. 一般食品：-5.7（やや不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	3.3	26.1	42.4	23.9	4.3	0.0
<b>一般食品（当月）</b>	<b>8.0</b>	<b>31.5</b>	<b>38.3</b>	<b>19.8</b>	<b>2.5</b>	<b>-5.7</b>

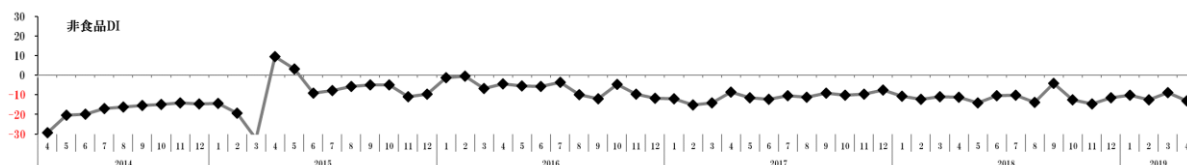


地域による前年との気温差により好不調にばらつきがみられるが、涼味関連は不調となった一方で、スープやインスタントコーヒーなどのホットメニューが好調な店舗が多い。報道によりサバ缶に特需が継続しているが、食酢には前年からの反動減を指摘するコメントもみられた。また米類は好不調まちまちとなった。行楽需要の変化により飲料や酒類の好不調は大きく分かれた。一般食品カテゴリーで値上げの影響やドラッグストアやディスカウントストアとの価格競争の厳しさへの指摘が目立った。



## 7. 非食品 DI：-13.1（不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	9.6	35.6	37.9	14.1	2.8	-8.8
非食品（当月）	14.1	39.1	34.0	10.9	1.9	-13.1



電子タバコを中心に好調とのコメントが多くみられた。気温の低下で季節商材は伸び悩んだ。天候要因による行楽商材の好不調に差が大きかった。供給が不足している紙類を不調とするコメントが多かった。ホームセンターやドラッグストアなどの競合が厳しく低迷が続いている。

### カテゴリ別 DI による好不調判断

かなり好調：～20      好調：20～10      やや好調：10～0  
 やや不調：0～-10      不調：-10～-20      かなり不調：-20～

### 2019年5月調査（4月実績）キーワードTOP3

1. 天候要因（気温が低い、花見時期の天候）
2. 曜日めぐり（日曜日が一日少ない、GW10連休）
3. 近隣との競合（チラシ、特売）

### スーパーマーケット景気動向調査 集計数

4月実績速報版      192社  
 3月実績確報版      167社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 [tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)